

海外農林業情報 No.77

TPP11 および NAFTA 再交渉の動向

TPP は、発効前に米国が離脱を表明し、発効条件がクリアできなくなり、残りの 11 カ国で発効させるべく、発効条件等の見直しが行われております。いわゆる TPP11 ですが、11 月の APEC 首脳会議の際に、関係国が集まって大筋合意できるよう、首席交渉官会合で検討されております。この第 4 回会合が、10 月 30 日から 11 月 1 日までの間、千葉県浦安市で開催されました。発効条件の変更のほか、各国が米国との交渉でやむを得ず受け入れた項目についても、米国の参加まで留保したいとの意向が示されており、前回 9 月の会合で、各国から 80 項目の凍結が提示されました。それぞれの国と米国との間のみで合意されている関税、サービス、政府調達等は、当然米国の参加まで凍結されますが、多国間のルール分野でも、知的財産の保護期間、植物製剤のデータ保護期間、政府関連企業の規制等に関して凍結したい意向が示されているようです。なお、これらの中には、農林業に直接関係するものは含まれていません。

今回の会合では、各国から 50 項目程度の凍結要求があり、その絞り込みの作業が行われました。そのうち 15~20 項目前後まで減らすことが出来たとされ、その中には著作権保護期間や電気事業者の紛争処理ルールが含まれているようです。しかし、ベトナムが見直しを要求している繊維製品の原産地規則の扱い等合意に至らなかった項目もあり、これらに関しては、11 月の APEC 首脳会議の際に関係閣僚会議で検討されることとなったようです。

国際的なルールの基準となるような協定としたい日本、シンガポール、ニュージーランド、オーストラリアに対して、ベトナム、マレーシア等が消極的で、また、カナダ、メキシコは NAFTA の交渉が気になっているようです。なお、ニュージーランドの新政権が当初 TPP に消極的と伝えられていましたが、TPP 参加へ方針転換したようです。いずれにせよ 11 月 8 日の関係閣僚会議が山場となります。

以上のように、TPP11 の方は、米国の参加を促す方向で進められておりますが、米国側は、10 月 17 日の第 2 回日米経済対話で、むしろ日米二国間の FTA 交渉に強い関心を示したとされております。さらに、米国は、米韓 FTA の改定交渉を韓国に飲ませ、NAFTA の改定交渉でも、強硬な態度を示すなど、トランプ政権の通商政策は、国内からも批判が出るほど国内優先の考え方が露骨なようです。具体的に交渉に入っている NAFTA では、自動車および部品の原産地規則について、米国産品の使用 50%以上、域内産品 85%（現在 62.5%）以上を主張しており、貿易収支問題も、5 年後に見直して、米国の収支改善が見られない場合は協定を打ち切る条項を入れることを求めているようです。これに関するメキシコとカナダの抵抗は激しく、年内に交渉を終えるとしていたものが、少なくとも来年 3 月までは伸びることとなったようです。

文責：藤岡 典夫

<参考リンク>

Trilateral Statement on the Conclusion of the Fourth Round of NAFTA Negotiations
(USTR、10/17 付)

<https://ustr.gov/about-us/policy-offices/press-office/press-releases/2017/october/trilateral-statement-conclusion>

Preparing for the worst: On NAFTA, America, Canada and Mexico are miles apart (The Economist, 10/21 付)

<https://www.economist.com/news/finance-and-economics/21730420-american-demands-are-so-extreme-some-suspect-it-not-wanting-deal-all>

NAFTA 崩壊も視野に (上記翻訳記事：日本経済新聞、10/25 付)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO2264265024102017TCR000/>

TPP11 半歩前進 11 月合意、時間との勝負 (日本経済新聞、9/23 付)

https://www.nikkei.com/article/DGXLASF22H43_S7A920C1EA4000/

NAFTA、年内を断念 トランプ氏「米国第一」固執 (日本経済新聞、10/19 付)

<https://www.nikkei.com/article/DGXXKZO22404480Y7A011C1FF2000/>

TPP 月内合意へ進展 (日本経済新聞、11/2 付)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO23014270R01C17A1EA1000/>

TPP 首席交渉官会合が閉幕、APEC での大筋合意に足並み揃う (梅本首席交渉官の記者会見動画あり) (TBS News、11/1 付)

http://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye3200559.html

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空 (から) メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：deskb@jaicaf.or.jp
メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880 (担当：森・西野) までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階